

火災調査技術講習会を実施

郡山地方広域消防組合消防本部

郡山地方広域消防組合消防本部では、11月18日（水）、車両火災における火災調査を踏まえた技術講習会を行いました。

解体した車両の各部品の役割や構造について学ぶことで、出火のメカニズムや調査のポイントを共有しました。

今後とも、類似火災を予防するために、組織的に高度な知識の蓄積を図り、科学的根拠に基づく予防行政を推進していきます。



廃棄予定の防火服を障害者就労施設の協力で再利用

堺市消防局

障害者優先調達推進法に係る取り組みの一環として、障害者就労施設の協力を得て、廃棄予定だった防火服を加工し、消防業務で使う新たな道具に作り変える試みを行っています。今年度は耐熱服の収納バッグを作製頂きました。

防火服は特殊な生地を使用しているため、縫製が難しいと言われますが、出来上がった品を見るととても完成度が高く、施設で働く方々の技術に感服します。

廃棄予定だった防火服を再利用し、有効活用できることは当局にとって非常にありがたいことであり、障害者就労施設にとっては新たな仕事の創出に繋がることから、互いにこの取り組みを継続していければと考えています。



消防通信 望楼 ぼうろう

令和2年度警防訓練（中高層建物火災防御訓練）を実施

和歌山市消防局

近年、和歌山市内にある建築物の高層化が進んでいることを受け、和歌山市消防局では、鉄筋コンクリート造り地上7階、地下1階建ての複合用途ビルで火災が発生したことを想定とした建物火災防御訓練を実施しました。

本訓練には、当局の職員164名が参加し、中高層建物火災特有の消防戦術、救助技術及び実態把握困難な火災に対する指揮能力の向上を図りました。



久高島合同訓練を実施

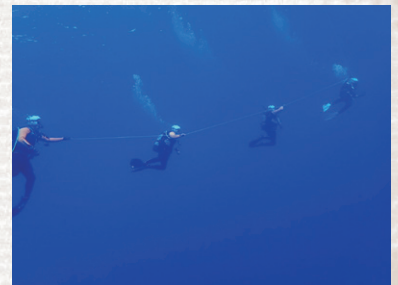
島尻消防組合消防本部

島尻消防組合消防本部では、令和2年11月27日（金）水難救助隊と久高島消防団員と合同訓練を実施しました。

この訓練は、久高島沖合にてダイビング中の水難事故を想定し、移動手段、協力体制を確認し、対応状況を検証するとともに防災の意識を図ることを目的に訓練を行いました。

昨今の社会情勢を踏まえ、感染症防止措置を施しながら、多くの諸課題が確認でき効果的なものとなりました。

今後も訓練を継続し、構成市町の安心・安全のため技術の向上に努めてまいります。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】